

第2章 医療

第1節 医療費助成等事業

1 医療費公費負担

(1) 結核医療公費負担状況

表1 結核患者の医療（感染症法第37条2）の公費負担申請・承認状況 令和元年（単位：延人数）

区分	総数	被保険者		国民健康 保 険	後期高齢者 医 療	生 活 保 護 法	その他 自 費
		本 人	家 族				
申 請	58	23	2	12	21	0	0
合 格	57	23	2	12	20	0	0
承 認	57	23	2	12	20	0	0
不承認	1	0	0	0	1	0	0

表2 入院患者の医療（感染症法第37条）の承認状況 令和元年（単位：人）

前年末現在	本年中承認	本年中解除	本年末現在
1	11	9	3

(2) 不妊治療費助成

表3 不妊治療費助成交付申請受理件数 令和元年度（単位：件）

年 度	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町	管外
平成30年度	286	144	77	52	13	0
令和元年度	244	110	53	60	20	1

(3) 未熟児養育医療給付

地域主権戦略大綱（H22.6.22閣議決定）において、H25年度から実施主体が県から市町へ権限移譲となり保健所での窓口申請が行われなくなった。都道府県並びに保健所設置市及び特別区が処理

している低体重児の届け出の受理、未熟児の訪問指導及び未熟児養育医療の給付等（母子保健法18条、19条1項、20条1項）については、すべて平成25年度より市町へ移譲された。

(4) 育成医療

都道府県並びに指定都市及び中核市が処理している育成医療に係る自立支援医療費の支給認定及び自立支援医療費の支給（障害者自立支援法54条

1項、58条1項）については、平成25年度よりすべて市町へ移譲された。

(5) 小児慢性特定疾病医療受給者証交付状況

表 4 参照

(6) 特定医療(指定難病)受給者証交付状況

表 5 参照

(7) 肝炎治療に対する医療費助成

平成 20 年度から B 型・C 型ウイルス性肝炎のインターフェロン治療に対する医療費助成制度が開始された。助成期間は、原則、交付から 1 年間で自己負担限度額は受給者の世帯の市町村民税（所得割）課税年額に応じて 3 階層（1 万円、3 万円、5 万円）である。

平成 21 年度からは一定の条件を満たした場合ペグインターフェロンとリバビリンの併用療法の助成期間の延長が認められた。又自己負担限度額の階層区分の決定方法に関して、税制上・医療保険上の扶養関係にない方を課税額の合算対象から除外することが可能となった。

平成 22 年度からは、自己負担限度額が 2 階層（1 万円、2 万円）に軽減された。又 B 型肝炎の核酸アナログ製剤治療が助成対象に追加されさらにインターフェロン治療について、一定の条件を満たした場合には、2 回目の制度利用が可能となった。

平成 23 年度には、B 型肝炎のペグインターフェロン治療 C 型代償性肝硬変に対するペグインターフェロン及びリバビリン併用療法（ペガシス・コペガス併用療法、ペグイントロン・レバトル併用療法）が助成対象に追加、さらに C 型肝炎に対するペグインターフェロン、リバビリン及びテラプレビル 3 剤併用療法が助成対象に追加された。

平成 25 年度には、C 型肝炎に対する新薬ソプレビルを含むペグインターフェロン、リバビリン及びソプレビル 3 剤併用療法が助成対象に追加された。

平成 26 年度には、C 型ウイルス性肝炎に対するインターフェロンフリー治療が追加された。

表4 小児慢性特定疾病医療受給者証交付状況

令和元年度

		総 数	悪 性 新 生 物	慢 性 腎 疾 患	慢 性 呼 吸 器 疾 患	慢 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	血 友 病 血 液 ・ 免 疫 疾 患	神 経 ・ 筋 疾 患	慢 性 消 化 器 疾 患	染 色 体 又 は 遺 伝 子 に 変 化 を 伴 う 症 候 群	皮 膚 疾 患	骨 系 統 疾 患	脈 管 系 疾 患		
男女別	男	112	17	3	1	28	34	2	3	3	6	6	7	0	1	1	0		
		11	1	0	1	3	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	女	97	15	5	2	20	33	8	6	2	0	0	1	4	1	0	0	0	
		11	1	0	0	5	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	計	209	32	8	3	48	67	10	9	5	6	7	11	1	1	1	1	0	
		22	2	0	1	8	9	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
年齢別	0～1歳未満	7	0	0	1	4	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
		7	0	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	1～6歳未満	36	3	1	1	17	6	1	1	1	0	3	2	0	1	0	0	0	0
		5	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～10歳未満	40	8	2	0	11	13	0	1	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0
		4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10～18歳未満	101	17	2	1	14	41	6	4	2	2	2	2	8	0	1	1	0	
		6	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	18～20歳未満	25	4	3	0	2	6	3	3	0	1	1	2	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市町別	小松市	113	15	3	1	24	42	7	8	1	2	3	6	1	0	0	0		
		11	1	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	加賀市	48	9	2	2	16	13	1	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	
		8	1	0	1	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	能美市	41	7	3	0	5	11	2	1	3	3	1	3	0	1	1	0		
		3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	川北町	7	1	0	0	3	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

下段は新規申請者数の再掲

表5 特定医療(指定難病)受給者証交付状況

令和元年度(単位:人)

疾患番号	疾患名	総数	性別		年齢別							市町別					
			男	女	9歳以下	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	小松市	加賀市	能美市	川北町	
																	822
1	球脊髄性筋萎縮症	8	7	1	-	-	-	-	1	2	4	1	6	1	1	-	-
2	筋萎縮性側索硬化症	23	11	12	-	-	-	1	2	3	2	15	7	10	6	-	
5	進行性核上性麻痺	35	20	15	-	-	-	-	-	1	4	30	19	9	6	1	
6	パーキンソン病	249	96	153	-	-	-	-	1	12	32	204	108	93	41	7	
7	大脳皮質基底核変性症	10	5	5	-	-	-	-	-	-	-	10	6	3	-	1	
8	ハンチントン病	6	5	1	-	-	-	1	-	-	1	4	2	1	3	-	
10	シャルコー・マリー・トウース病	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
11	重症筋無力症	38	13	25	-	-	-	1	4	5	12	16	20	11	6	1	
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	36	9	27	-	-	5	2	8	11	3	7	19	11	6	-	
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	6	5	1	-	-	-	-	1	-	3	2	3	2	1	-	
15	封入体筋炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	
17	多系統萎縮症	26	15	11	-	-	-	-	1	3	10	12	13	6	6	1	
18	脊髄小脳変性症	53	23	30	-	-	1	4	1	8	10	29	21	26	6	-	
19	ライゾゾーム病	5	5	-	-	-	-	2	1	2	-	-	1	2	2	-	
20	副腎白質ジストロフィー	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	
21	ミトコンドリア病	5	2	3	-	-	-	2	1	1	1	-	3	-	2	-	
22	もやもや病	17	5	12	-	1	-	2	8	6	-	-	6	7	3	1	
23	プリオン病	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	
28	全身性アミロイドーシス	5	1	4	-	-	-	-	-	-	-	5	3	2	-	-	
34	神経線維腫症	5	3	2	-	-	2	-	1	-	1	1	2	2	1	-	
35	天疱瘡	5	2	3	-	-	-	-	1	-	2	2	3	1	-	1	
37	膿疱性乾癬(汎発型)	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
40	高安動脈炎	11	-	11	-	-	-	1	3	2	1	4	1	7	3	-	
41	巨細胞性動脈炎	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	
42	結節性多発動脈炎	3	1	2	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	2	-	
43	顕微鏡的多発血管炎	21	9	12	-	-	-	-	1	1	1	18	7	7	7	-	
44	多発血管炎性肉芽腫症	7	3	4	-	-	-	-	-	-	2	5	1	6	-	-	
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	16	5	11	-	-	-	1	1	2	2	10	8	4	4	-	
46	悪性関節リウマチ	7	2	5	-	-	-	-	-	-	3	4	-	5	2	-	
47	バージャー病	10	10	-	-	-	-	1	-	2	1	6	2	5	3	-	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	
49	全身性エリテマトーデス	116	13	103	-	-	7	20	24	20	20	25	52	36	25	3	
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	48	12	36	-	-	4	5	4	11	10	14	24	13	9	2	
51	全身性強皮症	67	3	64	-	-	1	1	2	13	20	30	21	25	21	-	
52	混合性結合組織病	16	2	14	-	-	1	-	3	2	3	7	3	7	4	2	
53	シェーグレン症候群	38	9	29	-	-	-	2	6	3	9	18	13	17	8	-	
54	成人スチル病	7	1	6	-	-	-	1	1	1	-	4	3	2	2	-	
55	再発性多発軟骨炎	2	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	
56	ベーチェット病	34	8	26	-	-	-	4	9	6	5	10	10	15	8	1	
57	特発性拡張型心筋症	70	54	16	-	-	-	1	8	16	22	23	34	18	18	-	
58	肥大型心筋症	15	11	4	-	-	-	-	2	2	2	9	9	3	3	-	
60	再生不良性貧血	19	9	10	-	-	1	1	1	2	2	12	10	4	5	-	
61	自己免疫性溶血性貧血	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	2	-	
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	1	-	-	
63	特発性血小板減少性紫斑病	53	17	36	-	-	4	2	3	4	10	30	20	17	15	1	
65	原発性免疫不全症候群	3	1	2	-	-	1	-	1	-	1	-	1	2	-	-	
66	IgA腎症	16	7	9	-	1	3	2	6	1	2	1	3	6	7	-	
67	多発性嚢胞腎	18	10	8	-	-	1	-	9	7	-	1	9	3	6	-	
68	黄色靭帯骨化症	14	8	6	-	-	-	-	1	2	3	8	4	8	1	1	
69	後縦靭帯骨化症	69	53	16	-	-	-	1	1	4	19	44	31	21	13	4	
70	広範脊管狭窄症	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	
71	特発性大腿骨頭壊死症	39	26	13	-	-	2	2	10	7	10	8	15	17	6	1	
72	下垂体性ADH分泌異常症	10	5	5	-	-	1	-	2	1	1	5	5	1	4	-	
74	下垂体性PRL分泌亢進症	3	2	1	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	3	-	
75	クッシング病	2	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1	-	
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7	3	4	-	-	1	1	-	2	2	1	3	2	2	-	
78	下垂体前葉機能低下症	30	17	13	-	-	1	2	10	6	3	8	15	8	5	2	
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	6	2	4	-	1	1	2	1	1	-	-	4	-	2	-	
83	アジソン病	3	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	1	1	1	-	
84	サルコイドーシス	51	18	33	-	-	-	3	3	6	9	30	20	17	11	3	
85	特発性間質性肺炎	36	26	10	-	-	-	-	1	3	9	23	14	15	7	-	
86	肺動脈性肺高血圧症	9	2	7	-	-	-	2	-	2	3	2	4	1	4	-	
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	8	2	6	-	-	-	-	-	1	1	6	2	2	3	1	
89	リンパ管脈筋腫症	3	-	3	-	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	
90	網膜色素変性症	22	10	12	-	-	-	2	3	3	4	10	5	14	3	-	
92	特発性門脈圧亢進症	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
93	原発性胆汁性肝硬変	38	4	34	-	-	-	1	2	3	15	17	16	16	6	-	
95	自己免疫性肝炎	18	3	15	-	-	-	-	-	1	7	10	9	4	4	1	
96	クローン病	79	60	19	-	2	19	19	26	7	5	1	39	21	18	1	
97	潰瘍性大腸炎	191	109	82	-	3	19	30	59	40	20	20	101	45	41	4	
98	好酸球性消化管疾患	2	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	
107	若年性特発性関節炎	2	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	
113	筋ジストロフィー	3	3	-	-	-	-	1	1	1	-	-	1	1	-	1	
122	脳表ヘモジデリン沈着症	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	
126	ベリー症候群	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
127	前頭側頭葉変性症	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
158	結節性硬化症	2	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-	
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む)	6	5	1	-	-	-	-	1	2	2	1	1	5	-	-	
163	特発性後天性全身性無汗症	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
212	三尖弁閉鎖症	2	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	

疾患番号	疾患名	総数	性別		年齢別							市町別					
			男	女	9歳	10歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	小松市	加賀市	能美市	川北町	
					9歳	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	70歳					
218	アルポート症候群	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
220	急速進行性糸球体腎炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
222	一次性ネフローゼ症候群	13	7	6	-	-	4	1	3	2	2	1	8	2	3	-	-
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
224	紫斑病性腎炎	2	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	1	-
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
227	オスラー病	2	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2	-
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
266	家族性地中海熱	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
271	強直性脊椎炎	11	7	4	-	1	-	-	3	3	3	1	3	6	2	-	-
296	胆道閉鎖症	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
300	IgG4関連疾患	8	6	2	-	-	-	-	-	1	1	6	3	2	3	-	-
306	好酸球性副鼻腔炎	5	3	2	-	-	-	1	-	3	1	-	5	-	-	-	-
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
331	特発性多中心性キャッスルマン病	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-

2 医療機関立入検査

(1) 目的

医療法第25条第1項の規定に基づき、医療監視員が医療機関に立ち入り、医療機関が医療法及び関連法令により規定された人員及び構造設備を有し、かつ適正に運営管理されているか否かについて調査及び指導を行うことで適切な医療の確保を図る。

(2) 検査内容

医療従事者、患者入院状況、構造設備、運営等について、診療録、その他の帳票記録類の閲覧、関係者からの事情聴取及び構造設備に対する現場確認等を行う。

(3) 実施期間

令和元年7月～令和2年2月

(4) 実施施設数

種 別	数
病 院	20
一般診療所（有床）	5
一般診療所（無床）	1
歯 科 診 療 所	1
助 産 所	1
合 計	28

3 医療相談

保健所が所管する医療機関に関する相談や苦情、医療機関を利用するにあたっての相談などを実施している。相談は、面談又は電話、文書で受け付けている。

(1) 主な相談の内容

- ・ 医療行為、医療内容に関すること
- ・ 医療機関従事者の接遇に関すること

- ・ 医師等の説明に関すること

(2) 令和元年度相談件数

- ・ 医療行為、医療内容に関すること 3件
 - ・ 医療機関従事者の接遇に関すること 0件
 - ・ 医師等の説明に関すること 7件
- 計 10件

4 原子爆弾被爆者健康診断

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律第7条の規定による健康診断を年2回実施している(表6)。

(1) 検査項目

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律施行規則第9条第3項に規定する項目（一般検査）

- ① 視診、問診、聴診、打診及び触診による検査
 - ② CRP検査
 - ③ 血球数計算
 - ④ 血色素検査
 - ⑤ 尿検査
 - ⑥ 血圧測定
 - ⑦ AST検査法、ALT検査法及びγ-GTP検査法による肝臓機能検査
 - ⑧ ヘモグロビンA1c検査
- (⑦⑧については、医師が必要と認めた場合に限り)

(2) 要精検者については、石川県健康福祉部健康推進課で実施している。

表6 原子爆弾被爆者健康診断

令和元年度（単位：人）

年月日	検査実施場所	対象者数	受診者数	判定				要精検者の 検査内容
				異常なし	要精検	要観察	要医療	
R元.6.26	南加賀保健福祉センター	10	2	1	0	1	0	
11.25	同上	10	2	1	1	0	0	血痰
	計	20	4	2	1	1	0	
R元.6.19	加賀地域センター	14	1	0	1	0	0	軽度貧血、尿蛋白
11.27	同上	11	1	0	1	0	0	貧血、心雑音
	計	25	2	0	2	0	0	